

報道関係者各位

2025 年 6 月 12 日
東京貿易ホールディングス株式会社
グループ広報部

東京貿易テクノシステム株式会社 「第 7 回 国際 建設・測量展 CSPI-EXPO」に出展 i-Construction 実現に寄与する三次元測定技術を展示

東京貿易グループの一社である東京貿易テクノシステム株式会社（以下 TTS、東京都中央区、代表取締役社長 水原弘人）は、2025 年 6 月 18 日（水）～21 日（土）、幕張メッセで開催される「第 7 回 国際 建設・測量展 CSPI-EXPO」（旧：建設測量生産性向上展）に出展します。同展示会は最先端技術が集結する、建設・測量業界で国内最大級の専門展示会です。

■ 出展概要：他業界で培った三次元測定技術を建設業界へご提案します

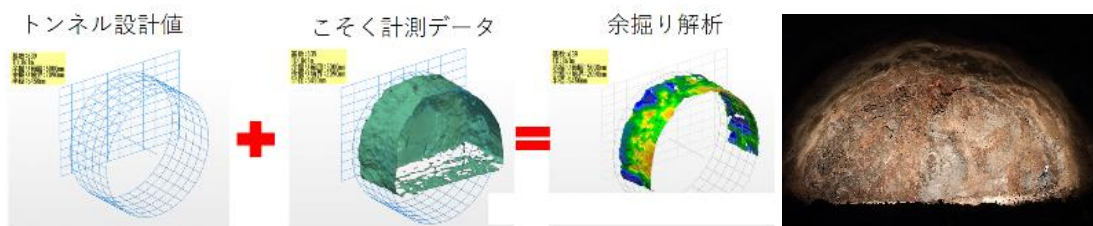
建設業界では、測量から設計、施工、検査、維持管理に至るまで、建設生産システム全体の生産性向上が求められています。これを受けて、国土交通省も「i-Construction」の取り組みにより、その推進を積極的に後押ししています。TTS では、製造業など他業界で培った高精度な三次元測定技術を活かし、**建設業界における自動計測・バーチャル組付け・自動組立**といった新たなアプローチを積極的に提案しています。

■ 展示内容：従来の建設現場では実現が難しかった高精度な位置決め・変位計測・施工支援を可能にし、設計・施工の高度化と効率化を支援します
Leica レーザートラッカーを活用した最新の三次元計測ソリューションをご紹介します。



例 1) トンネル切羽モニタリングシステム【初出展】

トンネル発破掘削の余掘り量低減のため、Leica レーザートラッカー Leica Absolute Tracker ATS600 で計測し、点群やカラーマップによって、切羽の状態をモニタリングします。



切羽モニタリングシステム 計測データ・解析イメージ

例 2) ICT 舗装工

Leica レーザートラッカーを用いることで、全層での出来形計測を可能にし、舗装工の品質向上を実現。また、工事を止めずに現場でリアルタイム解析が可能です。

例 3) 耐震補強工事での鋼板巻き

橋脚耐震補強工事における「鋼板巻き立て工法」の計測にあたり、計測を手計測から Leica レーザートラッカーでの計測に変更することで、大幅な工期短縮とコスト削減、さらに品質向上を目指すことが可能です。

建設業界における DX の鍵となる「三次元データの活用」を、ぜひ TTS ブースでご体感ください。

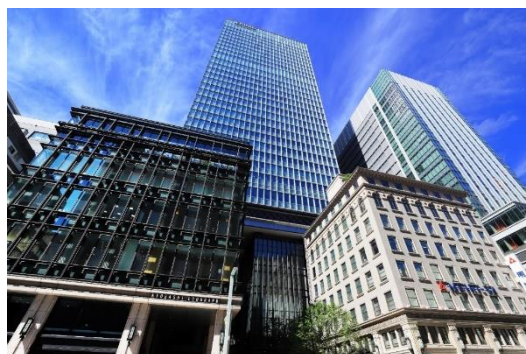
■ 展示会概要

日時：2025 年 6 月 18 日（水）～21 日（土） 会場：幕張メッセ（TTS 小間番号 10-65）

入場：来場事前登録が必要です。 <https://cspi-expo.com/entry/>

【お問い合わせ】東京貿易ホールディングス株式会社 グループ広報部 隅田まゆみ
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 27 階
TEL: 080-7243-4725 FAX:03-6841-8388 Mail:Sumita.Mayumi@tokyo-boeki.co.jp

東京貿易グループとは



持ち株会社である東京貿易ホールディングス株式会社（東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 27F、代表取締役社長 坪内秀介）と個性豊かな国内外の 15 事業会社、合計 16 会社で構成する事業開発型商社グループであり、1947 年の創業から 77 周年を迎えました。

エネルギーインフラ、スマートマニュファクチャリング、イメージソリューション、マテリアルサプライの 4 つのセグメントに注力し、各社が専門性の高い事業を展開しつつも、総合力を生かして新しい価値を世の中に提供し続けるグループを目指しています。

東京貿易グループは今後も変革を恐れず、自由闊達な文化の下、イノベーションを起こし、ステークホルダーの皆様が安全・安心な生活、経済、社会活動をおくることができる、より良い社会の実現と持続に貢献します。

<https://www.tokyo-boeki.co.jp/>